

こども加算(均等割のみ課税)

様式第3号(第6条関係)

津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(こども加算)申請書(請求書) (申請を必要とする世帯の場合)

津市
受付印

(宛先)津市長

裏面の【誓約・同意事項】を全て確認しチェックしました。全ての内容に誓約・同意の上、申請します。

1. 申請・請求者(世帯主)

(フリガナ) 氏名	性別	生年月日	現住所
	男 ・ 女	明治・大正・昭和・平成・令和 年 月 日	電話 ()
現住所と令和5年1月1日 時点の住所	<input type="checkbox"/> 現住所と同一 <input type="checkbox"/> 現住所と異なる	異なる場合には令和5年 1月1日時点の住所を記載	

○ 令和5年1月1日時点の住所が津市以外の方は、令和5年1月1日時点でお住まいの市区町村が発行する住民税課税証明書を添付してください。(該当者全員) ※住民税課税証明書の添付がない場合は、この給付金を支給することができません。ただし、住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出した際に、既に住民税課税証明書を提出している場合、添付は不要です。

2. こども加算の対象となる児童及び申請・請求額(既にこども加算を受給した児童については記載しないでください。)

○ 対象となる児童の範囲は以下のとおりです。
ア 令和5年12月1日時点で、上記1. 申請・請求者(世帯主)と同一世帯である18歳以下の児童(平成17年4月2日以降に出生した児童)
イ 令和5年12月2日から令和6年8月17日の期間に出生した新生児
ウ 別世帯において生計を同一にしている18歳以下の児童(平成17年4月2日以降に出生した児童)

	(フリガナ) 氏名	性別	生年月日	同居・別居の別	住所(別居の場合のみ記載)
1		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
2		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
3		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
4		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
5		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
6		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
7		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
8		男 ・ 女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	

申請・請求額

世帯主と生計を同一にしている18歳以下の児童
(平成17年4月2日生まれ以降の児童)

人

× 50,000 円 =

円

○ 申請額・請求額は、対象児童1人当たり一律50,000円です。(例)対象児童3人の場合:3人×50,000円=150,000円

裏面も必ずご確認ください

3. 振込口座(原則、1. の申請・請求者名義の口座)

※下記の①、②、③のいずれかを選択し、チェック欄(□)に✓を入れて、必要に応じて以下の欄に記入してください。

- ①津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の支給口座への振込を希望します。(通帳の写しは不要。)
※既に津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出していることが必要です。該当する場合、原則①を選択してください。
- ②世帯主(申請者)名義の公金受取口座への振込を希望します。(通帳の写しは不要。) ※マイナポータル等から公金受取口座を登録していることが必要です。
- ③下記の口座への振込を希望します。(通帳等の写しが必要。長期間入出金のない口座を記入しないでください。)

※下欄に記載し、振込先金融機関口座確認書類を添付してください。

【受取口座記入欄】

金融機関名	支店名	分類	口座番号 (右詰めでご記入ください。)	口座名義(カナ) ※「1. 申請・請求者」名義に限る。 ※通帳の表記に合わせてください。
銀行 5.農協 2.金庫 6.漁協 3.信組 7.信濃連 4.信連	本・支店 本・支所 出張所	1普通 2当座		
金融機関コード	支店コード			

ゆうちょ銀行	通帳記号 (6桁目がある場合は ※欄にご記入ください。)	通帳番号 (右詰めでご記入ください。)	口座名義(カナ) ※通帳の表記に合わせてください。
ゆうちょ銀行を選択された場合は、貯金通帳の見開き上またはキャッシュカードに記載された記号・番号をご記入ください。	1		

※金融機関の口座がない方、金融機関から著しく離れた場所に住んでいる方など、どうしても口座による受け取りが出来ない方は、津市福祉政策課(電話059-229-3152)にお問い合わせください。

【誓約・同意事項】 ※全ての項目を確認し、□にチェック(レ)してください。

以下の全ての誓約・同意事項について確認し、誓約・同意します。

- 津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(こども加算)の支給要件(※)に該当します。
※ こども加算の支給対象となるためには、以下の要件を全て満たすことが必要です。
- ア 世帯の中に、令和5年度住民税所得割が課税されている者はいない。
イ 世帯の全員が、令和5年度住民税が課されている他の親族等の扶養を受けている世帯ではない。
(注)住民税における取扱いとして、扶養を受けているか分からないときは、両親や子ども等、家族に確認してください。
ウ 津市価格高騰重点支援給付金(7万円)の支給要件に該当していない。
エ 世帯の中に、租税条約による免除の適用を届け出ている者はいない。
- ② 世帯の中に、住民税所得割が課税となる所得があるのに未申告である者はいません。
- ③ 表面のこども加算の対象となる児童について、既に津市及び他の市町村(特別区含む)で、住民税均等割のみ課税世帯に対する給付金に係るこども加算の支給を受けていません。
- ④ 給付金(こども加算)の支給要件の該当性等を審査等するため、津市が必要な住民基本台帳情報、税情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- ⑤ 公簿等で確認できない場合は、関係書類の提出を行います。
- ⑥ この申請書は、津市において支給決定をした後は、給付金(こども加算)の請求書として取り扱います。
津市が支給決定をした後、申請書(請求書)の不備による振込不能等の事由により支払が完了せず、津市が確認等に努めたにもかかわらず、申請書の補正が行われないことその他申請・請求者の責めに帰すべき事由により、令和6年9月30日までに、支給が完了できなかったときは、当該申請は取り下げられたものとみなすことに同意します。
- ⑦ 給付金(こども加算)の支給後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合や給付金(こども加算)の支給要件に該当しないことが判明した場合には、給付金(こども加算)を返還します。

提出書類

- 津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(こども加算)申請書(請求書)(申請を必要とする世帯の場合)(本書)
※必要事項をご記入ください。
- 『申請・請求者本人確認書類の写し(コピー)』
※申請・請求者のマイナンバーカード(表面)、運転免許証、健康保険証、年金手帳、介護保険証、パスポート等の写し(コピー)をご用意ください。
- 『受取口座を確認できる書類の写し(コピー)』
※通帳やキャッシュカードの写し(コピー)など、受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できる部分の写し(コピー)をご用意ください。ただし、住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出した際に、既に提出している場合は不要です。
- 令和5年1月1日時点の住所が津市以外の方(該当する方全員分)
令和5年1月1日時点でお住まいの市区町村が発行する『令和5年度住民税課税証明書』の写し(コピー)
※住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出した際に、既に提出している場合は不要です。
- こども加算の対象となる児童のうち、申請・請求者と別居している方(該当する方全員分)
別居している児童の属する世帯全員が記載された住民票及び生計を同一にしていることの誓約書

※【誓約・同意事項】のチェック漏れや、添付書類の不備はありませんか。(チェック漏れや添付書類の不備がある場合、給付を受けられません。)

本申立ての内容に相違ありません。

令和 年 月 日 申請者氏名

津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(こども加算)申請書(請求書)
(申請を必要とする世帯の場合)



(宛先)津市長

世帯主を申請者としてください。

裏面の【誓約・同意事項】を全て確認しチェックしました。全ての内容に誓約・同意の上、申請します。

1. 申請・請求者(世帯主)

(フリガナ) 氏名	性別	生年月日	現住所
○○ ○○ ○○ ○○	男 女	明治・大正・昭和・平成・令和 55年10月10日	○○市○○町○○-○ 電話 ×××(×××)××××
現住所と令和5年1月1日時点の住所	<input type="checkbox"/> 現住所と同一 <input type="checkbox"/> 現住所と異なる	異なる場合には令和5年1月1日時点の住所を記載	

○ 令和5年1月1日時点の住所が津市以外の方は、令和5年1月1日時点でお住まいの市区町村が発行する住民税課税証明書を添付してください。(該当者全員) ※住民税課税証明書の添付がない場合は、この給付金を支給することができません。ただし、住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出した際に、既に住民税課税証明書を提出している場合、添付は不要です。

2. こども加算の対象となる児童及び申請・請求額(既にこども加算を受給した児童については記載しないでください。)

○ 対象となる児童の範囲は以下のとおりです。
ア 令和5年12月1日時点で、上記1. 申請・請求者(世帯主)と同一世帯である18歳以下の児童(平成17年4月2日以降に出生した児童)
イ 令和5年12月2日から令和6年8月17日の期間に出生した新生児
ウ 別世帯において生計を同一にする(平成17年4月2日以降に出生した児童)

	(フリガナ) 氏名	性別	生年月日	同居・別居の別	住所(別居の場合のみ記載)
1	○○ ○○ ○○ ○○	男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
2	○○ ○○ ○○ ○○	男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	別居の場合、申請日時点の住所をご記入ください。
3		男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
4		男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
5		男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
6		男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
7		男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	
8		男・女	平成 令和 年 月 日	<input type="checkbox"/> 同居 <input type="checkbox"/> 別居	

該当するものに✓をご記入ください。

申請者が属する世帯の方全員をご記入ください。

申請・請求額	世帯主と生計を同一にしている18歳以下の児童(平成17年4月2日生まれ以降の児童)	人	× 50,000 円 =	円
--------	---	---	--------------	---

○ 申請額・請求額は、対象児童1人当たり一律50,000円です。(例)対象児童3人の場合:3人×50,000円=150,000円

裏面も必ずご確認ください

3. 振込口座(原則、1. の申請・請求者名義の口座)

※下記の①、②、③のいずれかを選択し、チェック欄(□)に✓を入れて、必要に応じて以下の欄に記入してください。

- ①津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の支給口座への振込を希望します。(通帳の写しは不要。)
 ※既に津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出していることが必要です。該当する場合、原則①を選択してください。
- ②世帯主(申請者)名義の公金受取口座への振込を希望します。(通帳の写しは不要。) ※マイナポータル等から公金受取口座を登録していることが必要です。
- ③下記の口座への振込を希望します。(通帳等の写しが必要で、長期間入出金のない口座を記入しないでください。)

※下欄に記載し、振込先金融機関口座確認書類を添付してください。

【受取口座記入欄】

金融機関名		支店名	分類	口座番号 (右詰めでご記入ください。)	口座名義(カナ) ※「1. 申請・請求者」名義に限る。 ※通帳の表記に合わせてください。
金融機関コード	銀行 5.農協 2.金庫 6.協協 3.信組 7.信濃連 4.信連	本・支店 本・支所 出張所	1普通		
		支店コード	2当座		

ゆうちょ銀行	通帳記号 (6桁目がある場合は ※欄にご記入ください。)	通帳番号 (右詰めでご記入ください。)	口座名義(カナ) ※通帳の表記に合わせてください。
ゆうちょ銀行を選択された場合は、貯金通帳の見開きを上またはキャッシュカードに記載された記号・番号をご記入ください。	1		

※金融機関の口座がない方、金融機関から著しく離れた場所に住んでいる方など、どうしても口座による受け取りが出来ない方は、津市福祉政策課(電話059-229-3152)にお問い合わせください。

【誓約・同意事項】 ※全ての項目を確認し、□にチェック(レ)してください。

以下の全ての誓約・同意事項について確認し、誓約・同意します。

- 津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(子ども加算)の支給要件(※)に該当します。
 ※ 子ども加算の支給対象となるためには、以下の要件を全て満たすことが必要です。
- ア 世帯の中に、令和5年度住民税所得割が課税されている者はいない。
 イ 世帯の全員が、令和5年度住民税が課税されている他の親族等の扶養を受けている世帯ではない。
 (注)住民税における取扱いとして、扶養を受けているか分からないときは、両親や子ども等、家族に確認してください。
 ウ 津市価格高騰重点支援給付金(7万円)の支給要件に該当していない。
 エ 世帯の中に、租税条約による免除の適用を届け出ている者はいない。
- ② 世帯の中に、住民税所得割が課税となる所得があるのに未申告である者はいません。
- ③ 表面の子ども加算の対象となる児童について、既に津市及び他の市町村(特別区含む)で、住民税均等割のみ課税世帯に対する給付金に係る子ども加算の支給を受けていません。
- ④ 給付金(子ども加算)の支給要件の該当性等を審査等するため、津市が必要な住民基本台帳情報、税情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- ⑤ 公簿等で確認できない場合は、関係書類の提出を行います。
- ⑥ この申請書は、津市において支給決定をした後は、給付金(子ども加算)の請求書として取り扱います。
- ⑦ 津市が支給決定をした後、申請書(請求書)の不備による振込不能等の事由により支払が完了せず、津市が確認等に努めたにもかかわらず、申請書の補正が行われないことその他申請・請求者の責めに帰すべき事由により、令和6年9月30日までに、支給が完了できなかったときは、当該申請は取り下げられたものとみなすことに同意します。
- ⑧ 給付金(子ども加算)の支給後、本申請書の記載事項について虚偽であることが判明した場合や給付金(子ども加算)の支給要件に該当しないことが判明した場合には、給付金(子ども加算)を返還します。

提出書類

該当する提出書類に✓をご記入ください。

- 津市住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(子ども加算)申請書(請求書)(申請を必要とする世帯の場合)(本書)
 ※必要事項をご記入ください。
- 『申請・請求者本人確認書類の写し(コピー)』
 ※申請・請求者のマイナンバーカード(表面)、運転免許証、健康保険証、年金手帳、介護保険証、パスポート等の写し(コピー)をご用意ください。
- 『受取口座を確認できる書類の写し(コピー)』
 ※通帳やキャッシュカードの写し(コピー)など、受取口座の金融機関名・口座番号・口座名義人を確認できる部分の写し(コピー)をご用意ください。ただし、住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出した際に、既に提出している場合は不要です。
- 令和5年1月1日時点の住所が津市以外の方(該当する方全員分)
 令和5年1月1日時点でお住まいの市区町村が発行する『令和5年度住民税課税証明書』の写し(コピー)
 ※住民税均等割のみ課税世帯重点支援給付金(10万円)の確認書又は申請書を提出した際に、既に提出している場合は不要です。
- 子ども加算の対象となる児童のうち、申請・請求者と別居している方(該当する方全員分)
 別居している児童の属する世帯全員が記載された住民票及び生計を同一にしていることの誓約書

※【誓約・同意事項】のチェック漏れや、添付書類の不備はありませんか。(チェック漏れや添付書類の不備がある場合、給付を受けられません。)

本申立ての内容に相違ありません。

令和 ○ 年 ○ 月 ○ 日

申請者氏名 ○○ ○○